

島のひろば

2019年1月15日

日本共産党

新島支部・式根島支部

発行：綾とおる 7-0381

今年一年が村民の皆さまにとって
良い年になることを祈り、村民とともに
引き続き、より良い生活の実現のために
頑張っていきます。

日本共産党 新島支部・式根島支部



島外通院の交通費・宿泊費助成が実現

これまでの補欠選挙などで、綾とおるさんが声を大にして訴えてきた「島外医療機関受診の際の交通費等の助成」が1月1日から実施されることになりました。

これらの問題を村議会で取り上げていただいた議員のみなさんには感謝します。

党の活動として島民の生活相談を担当してきた綾とおるさんのもとには、住民から「年に何回も東京の病院に検査や治療に通い、かさむ交通費や宿泊費は何とかならないか」と、悲痛的な声が寄せられていました。

議会を傍聴してきた綾とおるさんは、「村が助成制度を設けると答弁した時には、声を寄せられた村民の方々の顔が思い浮かび、喜びはひとしおだった」と感想を語っています。

助成内容の概略

- 交通費 4,000円 宿泊費 4,000円を年に4回
- 対象年齢 65歳以上の村民 19歳未満の村民

詳しくは、1月の「広報にいじまお知らせ版No.51」に書かれていますが、19歳～64歳までの村民は対象から除外されました。

一步前進！ さらに全村民対象の制度へ

とにかく、何もなかった状況から一步前進しました。多くの村民がこの助成を活用していただきたいと思います。同時に「働き盛りの方々にも助成を」との声が寄せられています。

島外通院、受診に対する助成に年齢制限をすることに納得できません。一日も早く、必要とするすべての住民が対象となるよう是正することが必要と考えます。

皆さんの声を背に都議団と一緒に都の支援も求め全力で頑張っていきます。

式根島に「都立広尾病院を守る会」できる

前に配られたチラシで広尾病院の独立行政法人化の話を知った住民から「緊急ヘリの対応や、さくら荘の宿泊施設がなくなるのでは」などの心配の声が寄せられ、詳しいことを知りたいと、まずは学習会をやりとうということになりました。

講師に元広尾病院の看護師で「広尾病院を都立のまま存続させる会」事務局長の金井寛子さんをお迎えし、去る11月28日に開発総合センターで開催、21人が参加して学習会が持たれました。

この学習会に参加した方々から「島民の命綱の都立病院を守るために伊豆諸島全島で声をあげて村長を先頭に運動を広げていくよう頑張してほしい」と力強い意見も出されました。

日本共産党新島支部、式根島支部も頑張ります。また、この問題については、随時お知らせしていきます。

皆さんの願いを村政に・・住民要求実現へ

声を聞き、ただちに動いた 綾とおるさん

◎ にしき船客待合所に初めてエアコンが設置されました

昨年の夏は、新島にとっても新島測候開始以来の記録を更新した猛暑。

「村民からも観光客からも言われてて村や関係者に言ってきたんだけど・・付かないんだよなあ」と要望も寄せられ、綾とおるさんは、すぐに村の産業観光課を通して式根島支所長に連絡。「この暑さで事故につながる危険もある」と申し入れました。

支所長からも「記録的猛暑の状況は理解しています」と回答があり、1週間後にエアコンが設置されました。

◎ 新島村眼科検診の回数増えました

式根島の住民から「眼科検診が年2回予定されていたんだけど1回は船の欠航で実施されなかった。検診回数をもっと増やしてほしい」との要望が寄せられました。

本村診療所長に申し入れたところ「理解できます。順天堂大学病院と協議します」と回答があり、以前の年6回に戻ります。

また、視力検査機器を新規に購入、検査結果も早く出せるようになりました。

本村診療所長さんのお話では「視力検査の際の視能訓練士も来年度から年6回来ていただけるようになり、メガネの処方箋も出せるので是非、利用してください」ということでした。

式根島から受診される方たちからも「村の努力に感謝します」と喜びの声が寄せられています。

◎ 式根島雅湯の安全対策を要望し実現、地鉾温泉の安全対策も

数年前から雅温泉へのトンネル通路の落石の危険に対する安全対策の要望が寄せられていました。また、通路の凸凹、常夜灯の設置、通路の段差解消、手すりの設置について要望があり、産業観光課に要望書を提出するなど対応を求めてきました。

地鉾温泉でも落石の危険があると指摘されていましたが、東京都の安全対策工事が行われる予定です。当面、「頭上注意」などの注意喚起の表示を増やす対応がなされました。